

若鳩

卒業式式辞



校長 竹崎 実

開成門を吹き抜けるさわやかな春の風が日ごと暖かさを増し、皆さんの人生の門出にふさわしい心躍らせる季節を迎えました。

本日ここに、ご来賓の皆様、そして多くの保護者、ご家族の皆様のご臨席のもと、令和6年度高知県立高知小津高等学校普通科第七十六回、理数科第五十五回の卒業証書授与式を挙行させていただきます。心から感謝申し上げます。

この晴れの日には本校を卒業される皆さん、卒業おめでとうございませぬ。皆さんの成長した姿を目の当たりにし、私自身もうれしく、また誇らしく感じるとともに、皆さんの三年間のたゆまぬ努力に敬意を表したいと思います。

卒業生の皆さんが、期待に胸を膨らませ本校に入学した令和四年は、新型コロナウイルスの感染者が全国で毎日数万人に及

び、学校行事や部活動でもまだまだ厳しい制限が残る状況がありました。また、二月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、国内においては民法が改正され成年年齢が二十歳から十八歳に引き下げられるなど、我が国や世界が大きく変貌した年でもあります。こうした年に本校に入學し、三年間を過ごしてきた皆さんの学校生活も、決して楽なことばかりではなかったのではないかと思います。将来の進路実現に向けた授業や補習、模擬試験、全国大会や自分の限界にチャレンジした部活動など、文武両道と言うことは簡単ですが、実際にそれを続けることは並大抵の努力ではできないことです。この三年間、様々な困難を乗り越え、勉強や部活動、学校行事に取り組んできた皆さんのそのひたむきさには、多くの仲間や家族、そして私たち教職員も励まされてきまし

た。皆さんのそうした姿が、見えないところで多くの人に感動や勇気を与えていたということ、そして皆さん自身もご家族をはじめ多くの人の支えによってここまで来ることができたということを決して忘れないでください。今、私たちが生きるこの世の中は混沌を極めていきます。世界各地で続く戦争や紛争は終わりが見えず、AIをはじめとするデジタル技術の発展は、私たちの生活のみならず価値観や人としての在り方をも根底から変えようとしています。また、未知の感染症、地震や猛暑、豪雨災害などこれまで経験したことがないような出来事が毎年のように発生し、多くの被害をもたらしている状況もあります。このような予測不可能な社会の中で、時に私たちは、自分自身を見失い、そして、先に進めば進もうとするほど、自分の力のなさを実感し、閉塞感の中で自分の道を模索し、苦しむことも少なくありません。

こうした社会に船出する卒業生の皆さんに、ここで三つのお願いをしたいと思います。一つ目は、世の中にあふれる多くの情報の中からしっかりと自分の目と頭で真実をつかみ取り、悩み、考え、そして最終的には自分で決断して進んでほしいという

卒業生の皆さん、皆さんは本校創立二五一年目の卒業生です。これまでに卒業した多くの先輩方の、一日一日の学校生活の積み重ねが今の本校につながっており、皆さんが過ごした三年間もまた、歴史の一ページとなっていくと思います。どうかそうした本校の卒業生であるということに自信と誇りをもって、これからの歩みを進めてください。結びになりますが、本日も多用の中ご出席いただきました、ご来賓の皆様、保護者等の皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、卒業する皆さんの将来が幸多き人生となることを願って式辞といたします。

令和七年三月一日

WAKABATO
発行所
高知県立高知小津高等学校
総務部・PTA事務局
〒780-0916
高知市城北町1-14
TEL 088-822-5270
FAX 088-823-6387

第108号若鳩

- ・卒業式式辞
- ・卒業生に贈る言葉
- ・PTAより卒業生へのメッセージ
- ・活躍の記録
- ・SSH活動報告
- ・修学旅行体験記
- ・錬歩会を終えて
- ・皆勤賞、児童生徒表彰
- ・学校評価アンケート
- ・読書感想文コンクール
- ・合格者数一覧

など

<https://www.kochinet.ed.jp/ozu-h/>



三年学年主任

尾崎 美佳

ご卒業おめでとうございます。日々の授業や部活動、学校行事、探究活動に懸命に取り組んできたこの三年間は、これからあなたたちが生きるうえで礎になったと確信しています。

進学する人も就職する人も、これから本当の意味での勉強が始まりますね。ある問題に直面したとき、立ち止まってあらゆる可能性を探し求めること、どの道を選ぶのかに迷い、おろおろしても格好悪くても、迷い続けることはあきらめない、私はそんな生き方が好きです。さらに学問に励み経験を重ねて、自分にとって何が大切か、真実なのかを見極められる人に成長してほしいと願っています。

三―IH主任

近藤 結衣

ご卒業おめでとうございます。皆さんとは入学時から三年

間共に過ごしてきました。皆さんの門出を祝えることが嬉しい反面、心にポツカリ穴が開いたような寂しさがあるのも事実です。それでも、最後は笑顔で皆さんの旅立ちを見送りたいと思います。三―IHは賑やかな人が多く、皆さんの底抜けに明るく笑顔やとりとめのない会話に癒され、元気をもらいました。優しく気が利く人も多くて、助けられることも多かったです。これからも、その温かい笑顔や優しさを忘れず、人から信頼される存在になつてくださ

三―IH副主任

竹島 洋文

みなさんの真剣に授業に取り組む姿、主体的に掃除に取り組む姿から、私自身元気をもらっていました。ありがとうございました。生きてゆく上でまず大切なことは、こころと体の健康だと思えます。心の中に「階段の踊り場」のようなものを作り、立ち止まったり、自然や人と関わったりして歩んでください。ある小説の一文に「実験てのはね、想定外の結果が出てからが本番だよ。」とありました。これから答えのわからない様々な問題にぶつかるともあると思えますが、時代や周囲の変化に応じ、たくましく生きてください。

三―IIH主任

寺峰あゆ子

皆さんと一緒に疾走した二年間は濃厚でした。学校行事すべてが楽しい思い出で、何

気ない日常を楽しむ天才！が三―IIHです。本当にユニークで個性あふれる四十一人！たくさん笑わせてもらいました。楽しい時間をありがとう。これからは、どんな荒波にも強く進んでいってください。時に船が押し流されることがあっても、進行方向を決めるのは風向きではなく帆の形です。帆の受け止め方で向かい風も方向転換することが出来ます。失敗しても立ち上がる強さと優しさを教えてくれた愛しい愛しい皆さん、ずっと応援しています。ご卒業おめでとうございます。

三―IIH副主任

梅原 智也

ご卒業おめでとうございます。三年生になってホームマツチや体育祭、ミニ文化祭などを盛り上げ、リーダーシップを発揮する皆さんの姿に心から感心しました。高校卒業後は、自分の将来について自分で判断し、自分で決めることとなります。大きな決断には大きな壁もつきものです。そんな時はぜひ小津高校で培った学ぶ力を生かしてください。高校で出会った仲間はずっと大切に、小津高校で出会った人にもたくさん頼ってください。そして、最後は自分の決断で力強く前へ進んでいってください。またどこかで会いましょう！

三―III主任

中野 亜紀

皆さんの入学と共に小津高校に赴任した私は、同じように毎日七時間授業の生活に驚

き、授業や課題をこなすのに精一杯でした。新しい人間関係に戸惑ったり、友達ができほつたり。そんな中で出会った三IHは協力的で互いを大事にできる落ち着いたクラスで、皆さんに助けられました。私が日々心がけていたのは、しんどさを抱えた人に寄り添う姿勢を忘れまいということでした。充分なことができたとは思えませんが、学び舎を巣立つ皆さんに次のことばを贈ります。
Be a Chief of your life!
C・H・E・Fがどんな英語の頭文字か想像してみてください。皆さん一人ひとりが自分の人生をChiefとして味付けし彩っていけますよう、心から祈っています。ご卒業おめでとうございます。

三―III副主任

乾 鈴子

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとは一年足らずしか共に過ごすことができませんでしたが、穏やかでありつつも個性的な皆さんとの日々は楽しく、充実したものでした。

「憂しとみし世ぞ今は恋しき」
―私が好きな歌の下の句で、「辛いと思っていたあの当時から今では恋しく思ひ出される」という意味です。高校生活は楽しいことばかりではなく、苦しいことも辛いことも多くあったと思います。すが、いつか「懐かしいな」と笑える日が来るはずですよ。皆さんがこれからの人生を祈っています。お元気で。

三―IV主任

白石 陽子

ご卒業おめでとうございます。みなさんは学業に、学校行事に、進路のための活動にと精一杯頑張ってきました。楽しいことと同じくらいしんどいこともある高校生活の中で、悩み、友人と笑い合い、切磋琢磨して成長してきました。みなさんは人に相談ができ、努力ができ、冷静に周囲を見ることが出来る人たちです。これからも理想を忘れず、しっかりと前を向き、一步一步堅実に歩んでいってください。みなさんの未来が幸多いものであることを願っています。

三―IV副主任

山下 聖

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者等のみなさま、お子様のご卒業おめでとうございます。卒業生のみなさんは、今、何を思い出していますか。みなさんにとって、高校生活はどのようなものでしたか。私は、二年間続けて四IHの副主任として、ホームをはじめ三年生のみなさんと共に生活することができて幸せに思っています。これから先、みなさんには輝く未来が待っていることでしょう。未来に恐れず、大きく羽ばたいていってください。

三―V主任

笹岡 愛

ご卒業おめでとうございます。学校行事や日々の学校生活の中で、大変なことや楽しい

ことなど多くの体験を共有し、大切な思い出が沢山できました。また、ひたむきに頑張る姿や友達と笑い合う姿に元気をもらいました。そんな皆さんの門出に立会い、送り出すことが出来ることを嬉しく思います。これまでの経験と、楽しさや苦勞を共にした仲間が存在が、この先ずっと強い味方です。これからの全ての出会いや経験が皆さんの糧となり、さらに飛躍していくことを願っています。

三一五H副主任

堀内美千子

ご卒業おめでとうございます。五ホールの皆さんと過ごした一年間を振り返ると、授業や学校行事で、奮闘する姿が印象に残っています。今この一瞬がかけがえのない時間であることを皆さんの姿から教えていただきました。本当にありがとうございました。高知小津高校で過ごした時間やすべての経験が今後の皆さんの糧になるとうれしいです。笑顔を忘れずに、自信をもって一步を踏み出してください。皆さんのご健康とご活躍を心から応援しています。

三一六H主任

久武 郁

ご卒業おめでとうございます。今振り返って思い出すのは、明朗快活で実直、そして思いやりに満ちたみなさんの姿です。そんな六Hのみならず、この高知小津高校でもにも過ごされたことに感謝です。毎日大きなカバンを背負って登校し、遅くまで部活動

や勉学に励む様子はとても頼もしく、また誇らしくもありました。そして、進路実現に向けた真摯な取組や真剣なまなざしに、私自身背中を押され前に進むことができました。

これから始まる新生活に、それぞれが期待を膨らませていることと思います。皆さんの未来が希望に溢れた輝かしいものとなることをお祈りいたします。Work Hard, Dream Big, and Live Truly.

三一六H副主任

秋元 杏理

ご卒業おめでとうございます。一年間、六Hの副主任として共に過ごした時間は、本当に貴重で楽しいものでした。授業や学校行事、掃除、SHを通して、皆さんと一緒に成長できたことにとっても感謝しています。高校生活の三年間、楽しいことばかりではなかったかもしれませんが、今、この瞬間、皆さんが笑顔で卒業を迎えていることを心より願っています。

これから先、苦しいことや辛いことがあるかもしれませんが、自分のできる精一杯の努力をして、輝かしい未来を切り開いていってください。しかし、自分だけではどうもできないときは、この小津高校で出会った仲間や先生を頼ってみてください。また皆さんと会える日を楽しみにしています。

最後に、六Hの皆さんへ。どんな時でも、心を込めて「掃除ができる大人」になってください。

三一七H主任

大崎 悠

ご卒業おめでとうございます。個性豊かなクラスで、楽しく授業やホーム運営をさせてもらいました。皆さんが理数科に入学し、理数探究ではそれぞれのグループで協力し、課題を見出し、解決するための手法や考察等に試行錯誤しながら放課後や休日にも研究を行ってきた経験は、これらの財産になることでしょう。「挑戦の先には成功が学びしかない。」今後も様々なことに挑戦して下さい。上手い出来ないことがあっても、それを学びに変えて成長し続けて欲しいと思います。「人生は掛け算だ。」何倍にも大きくなった皆さんに期待しています。

三一七H副主任

足達 瑤咲

ご卒業おめでとうございます。エネルギー溢れた三年生と過ごした日々は、すごく充実したもので皆さんから学びを得たり、体育祭、錬歩会、部活動などでは様々な体験や感情を共有したりと、とても濃い二年間でした。皆さんのおかげで私自身、成長することができ、皆さんと出会えたことに感謝です。これから先、悩んだり困難にぶつかったりしたときは、小津高校で培った経験を自信に変えて一度は立ち向かってみてください。その経験が皆さんを強くし、そして大きな成長に繋がるはずですよ。また皆さんと会える日を楽しみにしています！

三年団

和田真由美

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は皆さんの学年から、学びに向かうひたむきな姿勢を感じ、いつも感化されてきました。自分で考えて行動し、自分で歩いて行ける、そんな学年だったと感じています。皆さんの人生はこれからさらに花開いていき、社会に貢献し、社会に必要とされ、生きがいを見つけていくことになりそうです。自分の可能性を高めていくためには勉強することが一生懸命です。ずっと学び続けていく、その素地がこの小津高校三年間で少しでも定着すること、それが私の願いです。お互いに、現状に甘んじないで、成長を続けていきましよう。そして、元気な顔をまた見せに来てください。

三年団

池田 数人

ご卒業おめでとうございます。小津高校へ入学したときに思い描いた高校生活をおくることができましたか。学習や学校行事など、いろいろな場面で仲間と協力し、努力する皆さんの姿を見て頼もしく感じました。これを覚えていきます。これから新しいステージでの生活が始まりますが、自分で選んだ道を信じて進んでください。皆さんの活躍を期待しています。

三年団

植村 敦至

ご卒業おめでとうございます。三年間同じ校舎で学んできた

た皆さんも、これからはそれぞれが違う道を歩んでいくことになりそうですね。小津高校での思い出が、これからの歩みの励みになれば何よりです。人生は有限です。お体を大切になさってください。お元気で。それでは。

三年団

米澤友樹生

人生は一期一会です。人との出会いを大切にし、その一瞬を必死に生き抜いてください。

三年団

黒石 恵美

ご卒業おめでとうございます。この三年間、それぞれに喜びも苦勞もあったと思います。が、その経験は皆さんの人生において大きな財産となるはずですよ。これからは持ち前の誠実で前向きな気持ちで忘れずにチャレンジしていけば、きっと自然と道は開けていきます。その先では、また一段と成長した新しい自分に出会えると思います。皆さんが自分らしく輝ける場所を見つけ、活躍されることを心から願います。



PTAより 卒業生への メッセージ

【娘へ】

人見知りで、友達を作ることが苦手なあなたが、入学数日で友達ができたと喜んだ姿に驚きを感じてからあつという間の三年間で。部活に、勉強に、課題研究にと忙しい毎日の中で思うようにいかないことも多かったと思いますが、充実した毎日を送れたのではないのでしょうか。これからの人生、思い通りにならないことや悔いが残ることなど、良いことだけでなく、辛いこともたくさんあるかもしれませんが、努力家のあなたならきつと乗り越えていくと信じています。

母より

【息子へ】

悩み多い高校生活。苦しいときを乗り越えて、友と励まし合い突き進む日々でしたね。

あなたは学校の出来事をよく話してくれました。小さい頃に「悪いことほど早く報告した方が良い」と私が行ったことを今でも心得ていて、やらかしては心配させないように組み立てて話すのが上手になりました。(笑)

このメッセージを書きながら涙が止まりません。思えばあなたは息子というより友達のようにでした。いっぱい：ありがとう。

ああもう旅立っていくのがやね。自分らしい人生を、楽しい道のりを心から願っています。卒業おめでとう。

母より

【息子へ】

入学した日が昨日のようで、あつという間に高校生活が終わろうとしています。遠方からの通学、勉強と部活の両立の日々は思った以上に大変だったと思いますが、たくさんの仲間に出会えたこと、過ごしたこの時間と経験は、あなたの人生の糧になることと思います。卒業後は、新しい生活が待っています。自分の人生です。失敗を恐れず、後悔のないようチャレンジし、進んでいってください。卒業おめでとう。

母より

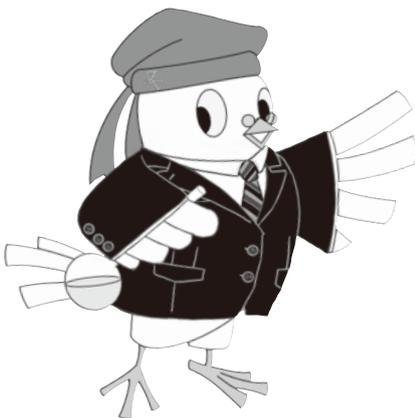
【息子へ】

卒業おめでとう。

小津高校の合格発表で合格とわかり、友達と喜び合ったことがついこの前のように感じます。一年生の時はコロナ禍で、部活もあまりできなかったのですが、二年生になってからは、朝練のために早起きして学校に行き、夜は塾に通い、勉強も部活も本当に頑張った三年間だったと思います。あなた自身もあつという間に時間が過ぎたと感じているのではないのでしょうか。

どんな時も応援しています。悔いのない人生を。

父母より



【娘へ】

卒業おめでとう。この三年間、素敵な友達と先生に恵まれ、本当に幸せでした。毎日楽しんで学校へ行っている貴女が眩しかったです。学校生活で悩むこともあったけど、どれをとつても無駄なことは一つもありませんでした。学業に関しては十分ではありませんでしたが、それ以上に大切なことを学びましたね。自分の道は自分で切り拓く。これからも自分で考え、選択し、歩んでいく貴女を全力で応援しています。

母より

【息子へ】

高校卒業おめでとう！少し遠方からの通学で勉強と部活の両立大変だったと思うけど、よく頑張りましたね。部活では思うような結果が出ず辛い時期もあったけど、最後までやり抜いたこと、本当に立派でした。

これから新たなスタートが始まります。一度しかない人生、一日一日を大切にしながら夢に向かって進んでください。困難にぶつかった時はいつでも相談してください。ずっと応援しています。

両親より

【娘へ】

卒業おめでとう。三年間の遠距離通学お疲れ様でした。毎日早起きして勉強に部活に忙しい生活でしたが、友達に恵まれ楽しい思い出もたくさんできたと思います。卒業後は新しい環境でいろいろな経験をしてさらに成長してほしいと願います。家を出て行ってしまふのは正直ちょっと寂しいですが、いつでもあなたを応援しています。

母より

【息子へ】

小さい頃よくキャッチボールをしました。あのぼつちやりしていた息子はすっかり肩幅も広くなり、毎日重いリュックを背負った姿は頼もしくありました。中学までの自主ノートは漢字を大きく書いてページを埋めていたのに、こんなに努力ができるようになったのも、今までお世話になった先生方や仲間のおかげです。後ろは振り返らず前しか見ない息子は、朝早くからの通学や部活も乗り越え文武両道をやり抜きました。あとは努力の結果を待つのみ。自分の進むべき道を見つけ、次のステップへと羽ばたいて下さい。

卒業おめでとう。そして、今まで沢山の思い出と出会いをありがとう。

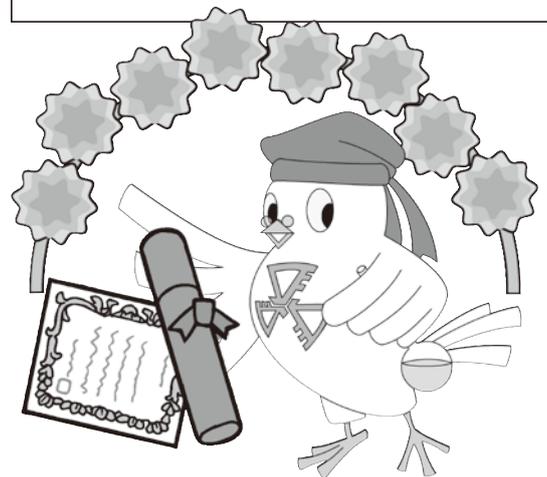
しっかり者のあなたにいつも救われていた母より

【息子へ】

高校生活、色々なことがありましたね。その度悩んでいたけど、周りの人たちに支えられて、やっとここまでこれましたね。ほんとうに卒業おめでとう。

あなたが優しい子に育ってくれて、お父さんもお母さんも嬉しく思います。これからも感謝の気持ちと謙虚さを忘れないように。そして、自信をもって羽を広げ、安心して羽ばたいてください。

母より



活躍の記録

【生物部】

◆令和6年度ふるさとこのいのちをつなぐ生物多様性こうちプラン大賞
大賞

- 横山菜々栴 (2-1 H)
- 濱田 湊歩 (2-4 H)
- 北村 水杜 (1-5 H)

【書道部】★書道選択生

◆第63回伊勢神宮奉納書道展
岐阜県知事賞

- 池澤 柚月 (2-2 H)
- 伊勢市長賞
- 藤本 晴 (3-1 H)

◆第76回全国学生書道展

○半紙の部
◆(公財)書道芸術院理事長賞

- 池澤 柚月 (2-2 H)
- 全日本書道連盟賞
- 渡邊 彩巴 (2-5 H)

◆全国学生書道展優秀賞

- 藤本 晴 (3-1 H)
- 宇根 瑞希 (2-6 H)

○半切1/2の部
◆大賞

- 宇根 瑞希 (2-6 H)
- ◆第47回高校書道展
奨励賞

- 藤本 晴 (3-1 H)
- 池澤 未唯 (3-5 H)
- 池澤 柚月 (2-2 H)
- ※渡邊 彩巴 (2-5 H)
- ※宇根 瑞希 (2-6 H)

※第49回全国高等学校文化祭
(香川大会) 出場決定

◆第29回全日本高等学校書道コンクール
○半紙の部
大賞

- 宇根 瑞希 (2-6 H)
- 全日本書道教育振興協会賞
- 池澤 柚月 (2-2 H)
- 全日本高等学校書道教育研究会賞
- 渡邊 彩巴 (2-5 H)



【美術部】

◆第69回高校美術展
○平面(絵画)
特別賞

- 長谷田佳香 (3-3 H)
- ◆令和6年度高知県高等学校総合文化祭

○ポスターの部
優秀賞

- 宗崎さくら (1-2 H)
- 佳作
- 岡村 充流 (1-7 H)

【吹奏楽部】

◆第48回全日本アンサンブルコンテスト高知県高等学校予選大会
○フルート四重奏
金賞・代表

- 森澤 亜衣 (2-4 H)
- 下村ななみ (2-6 H)
- 宮原 初唯 (1-1 H)

立仙 愛依 (1-1 H)
○クラリネット五重奏
金賞・代表

- 小川 花 (2-1 H)
- 松本 堇 (2-2 H)
- 鍋島 彩華 (2-3 H)
- 公文 凜 (1-1 H)
- 城寶明日香 (1-4 H)
- サクソフォン五重奏
銀賞

- 武村 紗弥 (2-1 H)
- 高橋 愛花 (2-2 H)
- 安岡 夢音 (2-2 H)
- 小笠原心春 (2-3 H)
- 中村 希衣 (1-1 H)
- 金管七重奏
銀賞

- 塩田くるみ (2-2 H)
- 岡部 夏蓮 (2-4 H)
- 西山 敦 (2-6 H)
- 濱田ことみ (1-5 H)
- 松繁菜々子 (1-5 H)
- 大川 彩心 (1-6 H)
- 古賀 優咲 (1-6 H)
- 金管六重奏
銀賞

- 田村 美桜 (2-2 H)
- 山下 倖明 (2-2 H)
- 川崎なつみ (2-6 H)
- 西山 敦 (2-6 H)
- 山本 愛莉 (2-7 H)
- 実藤 暖佳 (1-5 H)
- 打楽器四重奏
金賞・代表

- 都築 砂羽 (2-4 H)
- 佃 健司 (2-6 H)
- 田中 寛太 (1-1 H)
- 岡田 礼 (1-5 H)
- ◆第48回全日本アンサンブルコンテスト高知県大会
○高等学校部門フルート四重奏
銅賞

森澤 亜衣 (2-4 H)
下村ななみ (2-6 H)
宮原 初唯 (1-1 H)
立仙 愛依 (1-1 H)
○高等学校部門クラリネット五重奏
銀賞

- 小川 花 (2-1 H)
- 松本 堇 (2-2 H)
- 鍋島 彩華 (2-3 H)
- 公文 凜 (1-1 H)
- 城寶明日香 (1-4 H)
- 高等学校部門打楽器四重奏
金賞

- 都築 砂羽 (2-4 H)
- 佃 健司 (2-6 H)
- 田中 寛太 (1-1 H)
- 岡田 礼 (1-5 H)
- ◆令和6年度高知県高等学校総合文化祭写真部門
○第44回高知県高等学校写真展
奨励賞

- 岡部 夏蓮 (2-4 H)
- ◆第9回高知県議会高校生フオトコンテスト
佳作
- 浜田 琴音 (2-1 H)

【写真部】

◆令和6年度高知県高等学校総合文化祭写真部門
○第44回高知県高等学校写真展
奨励賞

- 岡部 夏蓮 (2-4 H)
- ◆第9回高知県議会高校生フオトコンテスト
佳作
- 浜田 琴音 (2-1 H)

【図書部】

◆第28回高知県高等学校新聞コンクール
優秀賞

- 岡林陽奈保 (3-2 H)
- 下村 知輝 (3-3 H)
- 春日このみ (3-6 H)
- 高田早耶佳 (2-1 H)
- 木戸 真緒 (2-2 H)
- 山本 穂香 (2-6 H)
- 小崎 光織 (1-7 H)

松田 昇大 (1-7 H)
矢野絵理奈 (1-7 H)

【演劇部】

◆第74回高知県高等学校演劇コンクール
奨励賞

- 東 あき (1-2 H)
- 吉岡 翠 (1-3 H)
- 高橋くるみ (1-4 H)
- 藤川 彩楓 (1-4 H)
- 吉田 昊生 (1-4 H)
- 田村 朱麗 (1-5 H)
- 門脇 大輝 (1-6 H)
- 上村 桜 (1-7 H)

【新聞部】

◆第28回高知県高等学校新聞コンクール
優良賞

- 西本 真未 (2-1 H)
- 野口 春乃 (2-7 H)
- 楠瀬 寛人 (1-5 H)
- 岡村 充流 (1-7 H)

【男子バレーボール部】

◆令和6年度高知県高等学校バレーボール秋季大会
ベスト8

- 川崎 大由 (2-1 H)
- 近藤 優樹 (2-2 H)
- 山本 光 (2-2 H)
- 岡崎 結斗 (2-3 H)
- 南 陽菜 (2-3 H)
- 植村 英太 (2-5 H)
- 岡崎 羽美 (2-7 H)
- 和井 勇樹 (2-7 H)
- 片岡 千耀 (1-2 H)
- 田村 優太 (1-3 H)
- 筒井 愛留 (1-3 H)
- 山崎 陸 (1-4 H)
- 平田 空 (1-5 H)

木村 柁太 (1-6 H)
 久保田 遥斗 (1-6 H)
 田所 英真 (1-6 H)
 岡本 利央 (1-7 H)

◆【女子バレーボール部】
 令和6年度高知県高等学校バレーボール秋季大会
 ベスト8

門田 菜々恵 (2-2 H)
 吉本 渚 (2-2 H)
 山崎 妃茉莉 (2-3 H)
 山内 瀬菜 (2-4 H)
 小松 悠奈 (2-5 H)
 岡林 柚七 (2-6 H)
 土居 珠輝 (2-6 H)
 山下 星菜 (1-1 H)
 宮本 なつめ (1-3 H)
 田上 蒼空 (1-4 H)
 四宮 友 (1-5 H)
 高田 朋花 (1-6 H)
 永野 望花 (1-6 H)
 濱田 智帆 (1-6 H)

◆【卓球部】

令和6年度高知県高等学校冬季卓球選手権大会
 (新人戦)

○男子団体
 第2位

大友 銀次郎 (2-1 H)
 筒井 秀貴 (2-3 H)
 清岡 和樹 (2-4 H)
 的場 遼斗 (2-4 H)
 頼 亮丞 (2-4 H)
 黒原 伊吹 (1-2 H)
 濱田 隼矢 (1-3 H)
 ○男子ダブルス
 第3位
 的場 遼斗 (2-4 H)
 濱田 隼矢 (1-3 H)
 ベスト8
 大友 銀次郎 (2-1 H)

○男子シングルス
 ベスト8
 濱田 隼矢 (1-3 H)

○女子団体
 第3位
 川村 思舞 (2-3 H)
 岩本 瑠椰 (2-7 H)
 西田 瑠夏 (1-1 H)
 下元 千夏 (1-6 H)

○女子ダブルス
 ベスト8
 西田 瑠夏 (1-1 H)
 下元 千夏 (1-6 H)

◆令和6年度第52回全国高等学校選抜卓球大会四国地区予選会
 ○男子団体
 出場
 大友 銀次郎 (2-1 H)
 筒井 秀貴 (2-3 H)
 清岡 和樹 (2-4 H)
 的場 遼斗 (2-4 H)
 頼 亮丞 (2-4 H)
 黒原 伊吹 (1-2 H)
 濱田 隼矢 (1-3 H)

◆令和6年度第71回四国卓球選手権大会
 ○女子団体
 出場
 川村 思舞 (2-3 H)
 岩本 瑠椰 (2-7 H)
 西田 瑠夏 (1-1 H)
 下元 千夏 (1-6 H)

○男子シングルス
 出場
 濱田 隼矢 (1-3 H)

◆【バドミントン部】
 令和6年度高知県高等学校冬季バドミントン選手権大会
 ○男子ダブルス
 ベスト8
 江口 拓海 (2-4 H)
 橋田 航典 (1-3 H)

◆第36回全国高等学校女子駅伝競走大会高知県予選会
 第2位
 河合 花梨 (2-1 H)
 山中 理子 (2-1 H)
 川上 葉奈 (2-2 H)
 岡田 有倭 (2-6 H)
 芝 彩芭 (1-1 H)
 博田 愛笑 (1-1 H)
 吉市 早希 (1-5 H)

◆第36回四国高等学校女子駅伝競走大会
 出場
 河合 花梨 (2-1 H)
 山中 理子 (2-1 H)
 川上 葉奈 (2-2 H)
 岡田 有倭 (2-6 H)
 芝 彩芭 (1-1 H)
 博田 愛笑 (1-1 H)
 吉市 早希 (1-5 H)

◆【陸上部】
 令和6年度高知県高等学校女子駅伝競走大会高知県予選会
 第2位
 河合 花梨 (2-1 H)
 山中 理子 (2-1 H)
 川上 葉奈 (2-2 H)
 岡田 有倭 (2-6 H)
 芝 彩芭 (1-1 H)
 博田 愛笑 (1-1 H)
 吉市 早希 (1-5 H)



◆【男子ソフトテニス部】
 令和6年度高知県高等学校ソフトテニス冬季大会
 ○男子団体戦
 第4位
 横江 一清 (2-2 H)
 橋本 蓮史 (2-4 H)
 森本 龍輝 (2-4 H)
 田島 勢大 (2-5 H)
 根口 盛梧 (2-5 H)
 中越 優太 (2-6 H)
 池 湊人 (1-1 H)
 井上 碧 (1-2 H)

◆【剣道部】
 令和6年度高知県高等学校剣道秋季新人大会
 ○男子団体戦
 第3位
 佐々木 願 (2-5 H)
 西山 来希 (1-4 H)
 篠崎 陽 (1-1 H)
 松熊 唯生 (1-1 H)
 村田 啓彰 (1-1 H)

◆【男子ソフトテニス部】
 令和6年度高知県高等学校ソフトテニス冬季大会
 ○男子団体戦
 第4位
 横江 一清 (2-2 H)
 橋本 蓮史 (2-4 H)
 森本 龍輝 (2-4 H)
 田島 勢大 (2-5 H)
 根口 盛梧 (2-5 H)
 中越 優太 (2-6 H)
 池 湊人 (1-1 H)
 井上 碧 (1-2 H)

※四国新人大会出場権獲得
 (令和7年2月実施予定)
 ※四国新人大会出場権獲得
 (令和7年2月実施予定)
 ○男子個人戦
 ベスト8
 村田 啓彰 (1-1 H)

◆令和6年度高知県高等学校剣道冬季大会
 ○女子団体戦
 第3位
 山下 杏 (2-2 H)
 (安芸・土佐女・土佐塾・小津・学芸連合チーム)
 ○男子個人戦1年生の部
 優勝
 村田 啓彰 (1-1 H)
 第3位
 篠崎 陽 (1-1 H)

◆【男子弓道部】
 令和6年度高知県高等学校弓道冬季選手権大会
 ○男子個人
 第6位
 松岡 俊樹 (2-2 H)

◆【ライフル部】
 令和6年度高知県高等学校ライフル射撃競技冬季選手権大会
 ○ビームライフル少年女子立射60発競技
 第1位
 中根 瑞希 (2-4 H)

○ビームライフル少年女子立射60発競技団体
 第2位
 中根 瑞希 (2-4 H)
 中西 優花 (2-6 H)
 高芝 杏 (2-7 H)
 ○ビームライフル少年男子立射60発競技団体
 第2位
 西森 孔亮 (2-2 H)
 尾木 希色 (2-4 H)
 山中 祐人 (2-5 H)

◆【水泳同好会】
 第17回(2024年度)全日本ユース選手権(U16)水球競技選手権大会
 出場
 有藤 友作 (1-6 H)
 第6位
 岡村 咲希 (1-2 H)

◆【水泳同好会】
 第17回(2024年度)全日本ユース選手権(U16)水球競技選手権大会
 出場
 有藤 友作 (1-6 H)
 第6位
 岡村 咲希 (1-2 H)



令和六年度SSH活動の概要

SSH認定校一年目の令和六年度も、もうすぐ終わろうとしています。今年度は、これまでのSSH活動を引き継いで、『地域で活躍できる人材(リージョナル・イノベーター)の育成』を目指して探究活動に取り組んできました。

今回は、十一月以降に取り組んだ探究活動や高大連携事業、授業改善に関わるSSH活動についてご紹介いたします。

SSH課題研究活動の様子

◆普通科一年生

総合的な探究の時間

○「地域フィールドワーク」
十一月十一日(月)に、「地域フィールドワーク」を実施しました。普通科一年生が七つの分野(①ものづくり系、②地球科学・環境・エネルギー系、③農林・水産系、④情報・経済系、⑤医療・衛生・福祉系、⑥まちづくり・観光系、⑦ミュージアム系)に分かれ、高

知県内の企業等を訪問し、講演や見学等とおして、企業の特徴や強み、高知県の地域課題解決に向けた取組を学びました。



大型機械の説明を受けている様子

帰校後は、個人で振り返りを行った後、グループで意見交換や情報共有を図りました。意見がまとまったグループから、一月十七日(金)のクラス発表会に向けて、ポスター作成に取り掛かりました。



ポスターを作成している様子

◆普通科二年生

総合的な探究の時間

○「課題研究の進捗状況」

十月以降、これまでの調査活動で得られたデータを分析し、明らかにした結果をスライドにまとめました。一月二十三日(木)と三十日(木)には、クラス発表会が行われ、研究の目的や仮説、調査結果から考えられる結論等について、スライドをもとに発表しました。



クラス発表会の様子

発表用スライドには、図やグラフ、イラストなどが取り入れられており、各グループの創意工夫が見られました。また、質疑応答の時間には、様々な質問や意見が飛び交い、互いに良い刺激になったと思います。今後は、発表会をとおして得たことを生かして、研究論文の作成を行います。

◆理数科一年生

理数探究基礎

○「ミニ課題研究Ⅱ」

二期は、物理・生物・地学・数学の各分野に分かれてミニ課題研究Ⅱに取り組んできました。それぞれの分野でリサーチクエスチョンや仮説を立て実験・実習に取り組みました。

一学期と取り組む分野を変えることで、幅広い実験技能の習得を目指しました。ミニ課題研究Ⅱの成果は、スライドにまとめて口頭発表を行い、質疑応答を繰り返すことで課題発見力や論理的・批判的思考力、プレゼンテーション能力の向上を図りました。

発表の仕方や質疑応答の様子を見ると、一学期よりも堂々としており、成長した姿が見られました。二年生からの始まる課題研究で、これらの経験を生かして、精一杯取り組んでくれることを期待しています。



ミニ課題研究Ⅱの様子

◆理数科一年生

理数探究基礎

○「OZU防災」

三期には「防災」をテーマに、文理融合型学習の実現に向けた授業改善の一環として、OZU防災に取り組みました。

「国語・歴史」「数学・地理」「芸術・国際」「保健体育・家庭」「英語・公共」の五グループの視点で、身近にある防災上の課題について調査を行い、明らかにしたことをポスターにまとめました。

これまでの課題研究や科学英語で培ってきた学びの往還を他の教科にも広げ、教科・科目間に留まらず社会とのつながりについても意識させることで、生徒にとってより良い学びとなるようにプログラムしました。



OZU防災の取組

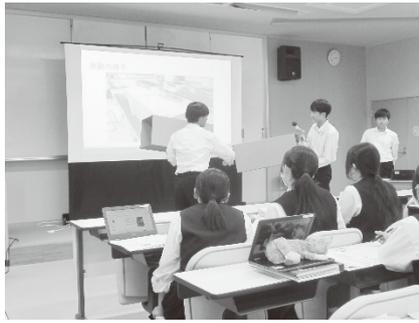
今後は、これらの取組をブラッシュアップしながら、様々な場面で文理の枠

を越えた「総合知」の育成に取り組んでいきたいと考えています。

◆理数科二年生 理数探究
○「課題研究中間発表会」

六月の課題研究テーマ発表会以降、六領域（物理二・化学二・生物一・建築一・防災一・数学一）計八グループで課題研究に取り組んできました。

課題研究中間発表会では、実験活動等で得られた成果や研究の進捗状況を発表しました。今年度は、高知大学農林海洋科学部の松川和嗣先生にメンターとして参加いただき、研究手法や研究倫理についてもアドバイスをいただきました。



課題研究中間発表会の様子

この発表会での評価・助言を参考に、年度末に向けてさらに研究活動に取り組んでいきます。

◆理数科二年生 理数探究
○「課題研究」

一月十三日（月・祝）に

理数科二年生の防災チームが、浦戸湾の堆積物について潜水調査を行いました。津波が海底の堆積物を巻き上げると津波被害が大きくなるということが知られていいます。そこで、浦戸湾にどの程度の堆積物が堆積しているのかを調べるため、水中ドローンを使って実際に調査を行いました。

水中ドローンを使った浦戸湾内の潜水調査は、高知県内で初めての取組ということで、高知県土木部港湾・海岸課や高知海上保安部などの関係機関と連携しながら慎重に調査を行いました。今回の調査結果については、今後の研究発表において報告する予定です。



潜水調査の様子

◆理数科二年 理数探究
○「化石を調べる」

十二月十七日(火)に、石灰岩に含まれる化石の観察と植物化石の模擬採集を行いました。石灰岩については、はじめ肉眼では模様のようにしか見えなかったフズリナ化石（有孔虫のなかま）を、水で濡らしたり拡大鏡を使って観察し、小豆くらいの大きさで内部は複雑な構造を持っていることを確認しました。「植物化石の模擬採集」で扱った泥岩は、栃木県北部塩原にあった湖に数十万年前に堆積したものです。泥岩は比較的柔らかく、軽くたいて割ることができ、各自植物化石の取り出しに没頭しました。植物化石を初めて見る生徒も多く、植物化石の葉の細部の様子を観察し化石の美しさをみんなで見ました。

この日、化石が含まれる岩石を観察することを通して、さまざまな生物がどの



植物化石の模擬採集の様子

ような環境で生きていたか考えたり、化石同定（植物の種類を決める）では生徒たちで話し合ったりと、主体的な活動ができました。

◆OZUサイエンス化学
○「化学反応の速さ」

一月二十一日(火)に、OZUサイエンス化学「化学反応の速さ」を実施しました。

今回は、実験データを正しく処理することを目的に、過酸化水素の分解反応を用いて化学反応の速さと物質の濃度、及び温度や触媒との関係性を考察しました。

濃度未知の過酸化水素水に触媒（均一触媒）を加えて分解反応を起こし、発生した酸素の体積から過酸化水素水の濃度を導き出しました。このとき、反応温度を二十度の班と四十度の班に分けて実験することで、温度と反応速度の関係についても考察できるようにしました。

求めた過酸化水素水の濃度と分解速度の関係をまとめてグラフ化することで、反応速度定数を求めることができました。複雑な単位変換に悩まされながらも、体験的に化学反応の速さについて学習することができました。



実験に取り組む様子

◆「短期集中体験ゼミ」
◆生命科学体験ゼミ

十二月十九日(木)から二泊三日、高知大学物部キャンパス内の遺伝子実験施設にて「微生物の培養・観察」「事前学習で採取した微生物の同定(PCR・DNA塩基配列決定)」「緑色蛍光タンパク質(GFP)遺伝子の大腸菌への導入」の実習に十九名が参加しました。

生物の教科書では内容を取り扱うものの、学校では実施困難な実験・実習（大学生レベルの実験）であるため、大変貴重な体験となりました。キャンパス内の宿泊施設に泊まり込み、大学生協の食堂で食事をとりながら、朝から晩まで、遺伝子や微生物について考える濃密な時間を過ごしました。

実験の空き時間には研究施設・研究室の見学を行ったり、研究室の学生たち

と交流したりして学生生活・勉強など、幅広い話をうかがうことができました。



実験・実習の様子

◆動物解剖体験ゼミ

一月十三日(月)成人の日、横倉山自然の森博物館の谷地森先生の協力のもと動物解剖体験ゼミを実施し、四十名(小津の生徒三十名、他校生徒十名)が参加しました。

四国自然史研究センターは、様々な野生生物の研究を行っています。その一つとして、交通事故などで死亡した個体を冷凍保存し、計測データを取り、研究分析用のサンプルを採取しています。

今回はノウサギ・テン・ハクビシンを提供していただき、脳や筋肉の組織・血液・外部寄生虫などをサンプル用に採取しながら、内

臓諸器官の配置・形態・内部構造、筋肉の付き方や関節のつくりを観察し、死因の推定などを行いました。



解剖実験の様子①

解剖時の強いおいにも徐々に慣れながら、普段見ることのない様々な器官の色や形、手触り等を確認するとともに、野生生物の解剖の目的とその意義について理解を深める機会となりました。



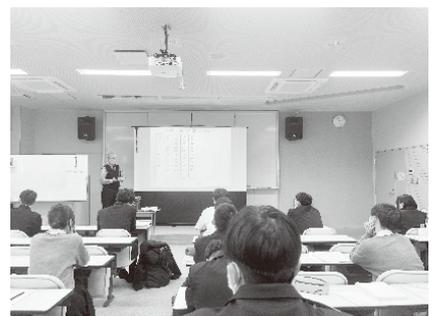
解剖実験の様子②

◆数学体験ゼミ

一月二十六日(日)本校にて高知大学教育学部の先生方をお招きして、数学体験ゼミを実施しました。内容は代数学・幾何学・解析学の各専門分野から「不動点定理」や「正多面体から多様体へ」などの内容で、六名の各先生方お一人ずつから講義が聴ける大変贅沢なゼミでした。

具体的には、二進数石とリゲームを通して、数学的理論とゲームが密接に関連していることを学んだり、写像の値が一次元にとどまらず、二次元においても「中間値の定理」が成り立つことについて証明を通じて確認したりして、数学の有用性を感じ、知識を深める機会となりました。

普段の数学の授業とは異なった視点や数学的な考え方で問題を捉えたり、体験的な活動を通して楽しんだりすることができました。習っていない内容があったり、高度な内容があったりして、難しいと感じながらも粘り強く考えることで、生徒は考え方が深まり、数学の面白さや、数学の世界の広がりや大いに感じたゼミになりました。



数学体験ゼミの様子

●サイエンスファイルドワーク
◆理科一年生 高知海洋
コア国際研究所&芸西メ
ランジユ

十一月十一日(月)に、理数科一年生は南国市にある高知大学海洋コア国際研究所を訪問しました。

この研究所は、地球深部探査船「ちきゅう」が世界各地で採取した海洋コアサンプルの分析から地球規模の気候変動や地球活動等について研究する施設で、世界に三カ所しかない海洋コアサンプルの保管施設としてJAMSTECなどと協力して最先端の研究が行われています。

午前中は、浦本豪一郎先生から研究所の役割や海洋科学における掘削の目的や方法・意義について説明やしていたいただきました。その後、様々な海で採取された冷凍保存されている海洋コアサンプルや、実際に研究に

使われている海洋コアサンプルなどを見学しました。



海洋コアサンプルの見学

午後からは、安芸郡芸西村にある「芸西メランジユ」と呼ばれる中生代白亜紀前後に堆積した地層の観察を行いました。藤内智士先生から説明を受けた後、生徒たちは、色や模様・硬さ・手触りなどから岩石の種類の見分けに挑戦するなど熱心に活動する様子が伺えました。



地層見学の様子

1年生 修学旅行体験記

「修学旅行での思い出」 1-3H 五藤 衣花

私は東京と新潟へ4泊5日で修学旅行に行ってきました。どの日も楽しくいい思い出となりましたが、私の中で1番印象に残っているのは2日間行ったスキー研修でした。

私たちが研修を行った2日間は雪が降り視界が悪かったうえ、板に足を固定され、上手く身動きが取れないことで恐怖心が誰にでもあったと思います。それでも上達しようと一生懸命取り組んでいる生徒がほとんどでした。私は今までにスキーを経験していたので、2日目は滑るのが上手な人達の中で滑ることになりました。初めはホテルから出たすぐの場所にある坂でも怖く感じていました。そんな私たちを見て坂を滑る前にインストラクターさんが「人間はできないと思っちゃうと何も出来なくなってしまう。出来ると思って何事もすべきだ」ということを教えてくれました。正直それを聞いた時私はなんとも思っていませんでした。その後私たちは山の頂上まで行き皆のいるゲレンデまで滑って下りることになりました。頂上まで登った時はちょうど晴れて景色はととてもいい眺めでしたが、見下ろすとやはり高く怖く感じました。でも言われた通り一旦挑戦してみようと頑張って下りることを心がけると滑るにつれて段々と慣れ、最終的にはどんな坂でも楽に滑ることができるようになりました。

今ではインストラクターさんの言葉に強く共感できます。まずできないと思わずやってみることが肝心だと思えるようになりました。私は初めスキー研修を嫌がっていましたが、スキーが上達しただけでなく大切なことを学ぶ機会にもなり行って良かったなと思います。



「修学旅行での気づき」 1-7H 矢野絵理奈

私たちは4泊5日で東京と新潟に修学旅行に行ってきました。その中でも特に、スキー研修が印象に残っています。

スキー研修は2日間行いました。1日目は装備や雪に慣れることに精一杯でした。重い靴や分厚いウェアを着て、いざスキー板をつけ乗ってみると、思ったようにはいかず、何度も叫び、転びました。転んだことへの悔しさと、同じ班の経験者の人たちのように滑りたいという思いとが強くあり、コツを聞いたり、お手本をよく観察したりして努めました。その結果、午後からはゆるい傾斜は怖がらずに滑ることができるようになりました。だんだんと楽しさを感じられるようになりました。

2日目は、コースを滑りました。1日目とは違い、山間部へリフトを使って登りました。午前中はとても天気良かったため、眺めが最高でした。高い山々に雪が少しかかっており、そこから太陽の光が差し込んでいる状態でとてもきれいでした。コースを下っていき、長い坂に加えて連続してカーブがあり怖さもありませんでしたが、最後には、班のみんなが一度も転ばずコースを降りることができました。この2日間で諦めず、協力し、仲間と協力する楽しさを知ることができました。

また、時間前行動、健康管理など、基本的な生活のルールを守り、スキー学習に励むことができました。このような貴重な体験ができたのも、修学旅行に関わってくださった方々、家族のおかげです。深く感謝をし、修学旅行で学んだことをこれからの生活に役立てていきたいです。

錬歩会を終えて

生徒会長 谷脇 悠真

私たち二年生は一月三十一日金に新宮公園への往復十八キロの道のりを、およそ四時間かけて歩く「錬歩会」という行事に参加しました。はじめに「十八キロ歩く」と聞いた時には「どんなにきつく辛い行事なんだ」という印象を受けました。そして、いざ実際に歩き始めると、やはり上りの九キロという長い道のりに圧倒されましたが、友達と楽しく談笑しているうちに、思ったよりも早く目的地に到着できました。山道を歩いてみると、ところどころゴミのポイ捨てが見られました。小津高校で代々行ってきた錬歩会です。その目的地である新宮公園への道のりをきれいにすする清掃活動なども、僕たち小津高校生が行っていく必要があると感じた行事でもありました。

二年生の行事もこの錬歩会で最後になり、いよいよこの小津高校で過ごす時間も約一年と、少なくなってきました。後悔や心残りが無いよう、日々の勉強や部活動に一生懸命取り組んでいきましょう。



三年間皆勤

3 7 H	3 6 H	3 5 H	3 4 H	3 3 H	3 2 H	3 1 H
松松前大	福西川垣	末今生	矢村濱新辻加氏	夕村松寺	溝松橋多	萩小小
丸浦田元	原峯上成	延井田	野上崎納 納原	部越崎村	口本田田	野松松
直佳彩	由季茜珠	寛は真	夏 り有愛柚慶	吏楓馴優	侑菜苺美	智奈洗
詩希杜奈	花咲音妃	大な裕	海昇 んご彩未葉大	穂花知花	弥佳愛涼	子咲央太

皆勤賞は三年間、無遅刻・無欠席・無早退・無欠課の生徒を対象としています。おめでとうございます。(令和7年2月27日現在)



スポーツ部門
山本 穂香 (2 | 6 H)

池澤 未唯 (3 | 5 H)

芸術部門

藤本 晴 (3 | 1 H)

令和6年度
高知県児童生徒表彰

令和6年度 学校評価アンケートについて

高知小津高等学校長

本校では、開かれた学校づくりの一環として「学校評価アンケート」を実施しています。本年度も12月に生徒、保護者等、教職員、小津会等の皆様に、アンケートの回答にご協力いただきました。アンケートの実施方法については、昨年度から、GoogleのFormsを利用した回答としました。多くの方々にご協力いただき感謝申し上げます。

アンケート結果を見てもみますと、今年度も例年同様に学校の取組について概ね肯定的な評価をいただいたものと考えております。今回、評価のあまり高くなかった項目や、ご指摘いただいた事項につきましては、改善の手立てを講じながら、本校のさらなる充実・発展に向けて取り組んでまいります。

本調査にご協力いただきました皆様に心から厚くお礼申し上げますとともに、今後とも本校の発展のためご支援くださいますようお願いいたします。

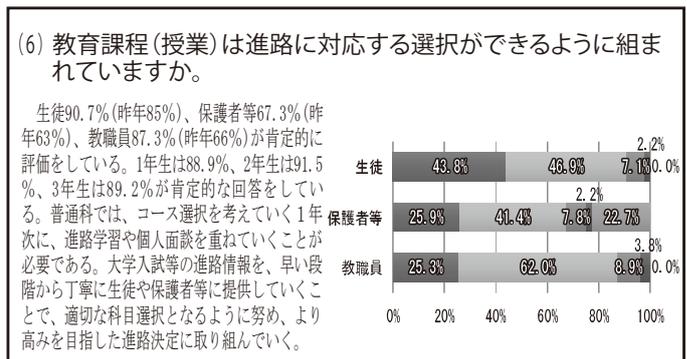
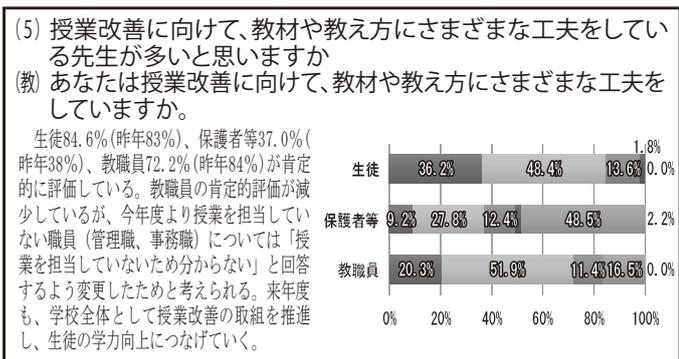
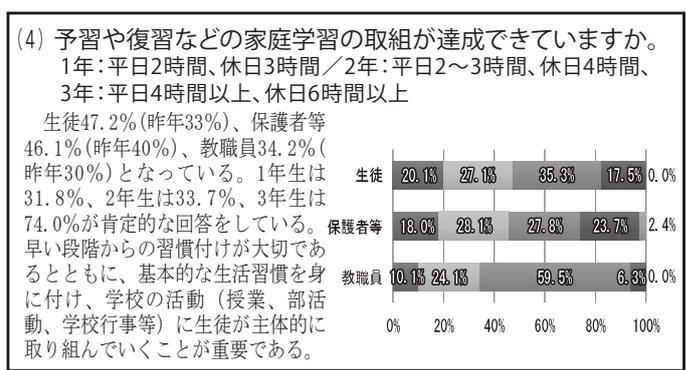
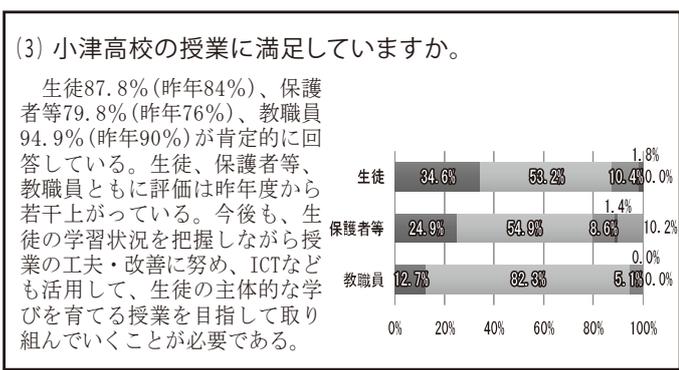
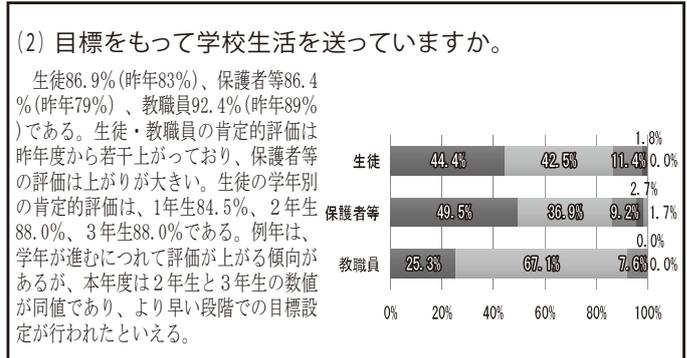
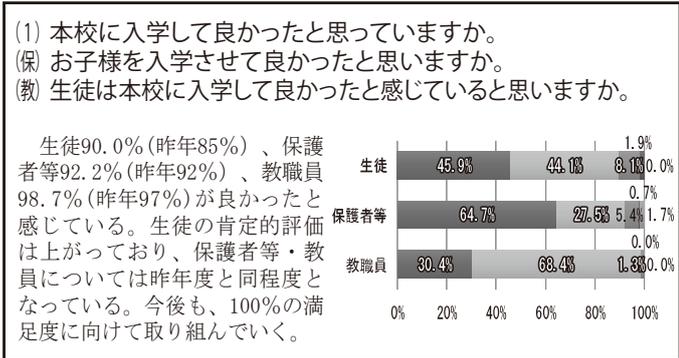
学校評価アンケート(生徒・保護者等・教職員)集計と分析

回答は、各設問に対し、次の1から5のいずれかを選ぶ方式です。「1」「2」を肯定的な評価と考え、主として肯定的な評価について分析しました。

1：そう思う 2：ややそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：分からない

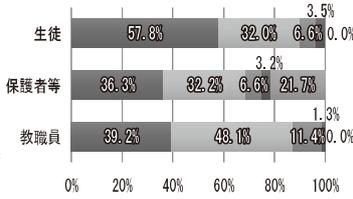
調査対象	生徒	790名のうち	737名回収 (回収率 93.3%)
	保護者等	790名のうち	590名回収 (回収率 74.7%)
	教職員	85名のうち	79名回収 (回収率 92.9%)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 無回答



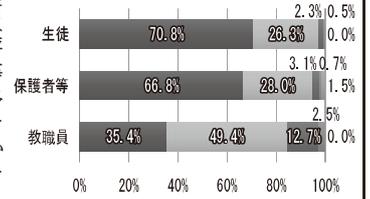
(7) 本校が定期的(月1回)に実施している服装・頭髪の指導は適切だと思いますか。

生徒89.8%(昨年74%)、保護者等68.5%(昨年63%)、教職員87.3%(昨年76%)が肯定的に評価している。生徒・教職員ともに若干減少し、保護者等の「分からない」も21.7%と多い。服装・頭髪については、学校として全教員で統一した指導を行っており、特に今年度は新たに導入した制服を正しく着用するよう、継続的に指導を行ってきた。今後も時と場所に応じた適切な服装や行動ができるよう、生徒の意識を高める取組を行っていく。



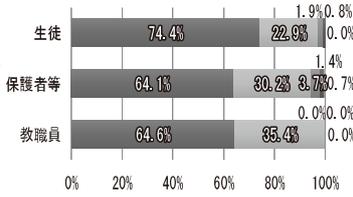
(8) 本校は遅刻指導、挨拶指導など基本的な生活習慣の確立に力を入れていますが、校則を守り、規則正しい高校生活を送っていますか。

生徒97.1%(昨年94%)、保護者等94.8%(昨年93%)、教職員84.8%(昨年87%)が肯定的な評価をしている。生徒・保護者等ともに高い評価を得ている。多くの生徒が自覚ある高校生活を送っていると考えられることから、今後も指導の充実と徹底を行っていく。



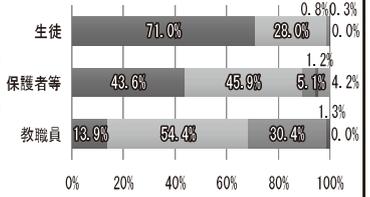
(9) 学校行事(ホームマッチ、文化祭、体育祭など)に、意欲をもって取り組んでいますか。

生徒97.3%(昨年97%)、保護者等94.3%(昨年93%)、教職員100%(昨年99%)が肯定的な評価をしている。真摯に学校行事へ取り組む生徒の姿勢や、積極的に学校行事へ参加する生徒の意欲の高さが表れている。今後も、生徒が学校生活に充実感を得られるよう、生徒の声も生かしながら、学校行事等の充実を図っていく。



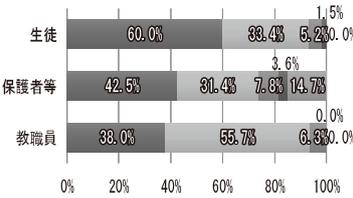
(10) 本校は交通マナー向上のために、街頭指導など交通安全指導に力を入れていますが、交通マナーを十分守っていますか。

生徒99.0%(昨年99%)、保護者等89.5%(昨年91%)、教職員68.3%(昨年67%)が肯定的な評価をしている。大部分の生徒は交通ルールを遵守しているが、一部の生徒の自転車マナーの悪さや、通学時の事故が多い現状もみられる。今後も、警察署や交通安全協会、地域の方々とも連携した交通安全に関する活動を継続するとともに、自転車ヘルメット着用も含めたさらなる交通安全教育の充実を図っていく。



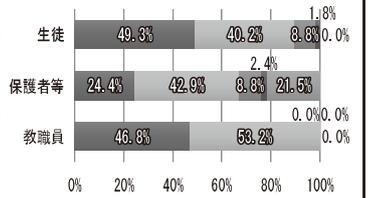
(11) 本校は、適切に部活動の指導を行っていると思いますか。

生徒93.4%(昨年90%)、保護者等73.9%(昨年71%)、教職員93.7%(昨年89%)が肯定的な評価をしている。保護者等の「分からない」は14.7%である。生徒・保護者等・教職員の肯定的な評価は総じて上がっており、おおむね適切な指導が行われているととらえられる。今後も熱中症対策やケガ等への対策も徹底し、文武両道の質の高い教育を目指し、指導の充実を図っていく。



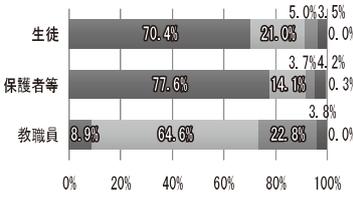
(12) 本校は、生徒一人ひとりに適したきめ細かい進路指導を行っていると思いますか。

生徒89.5%(昨年83%)、保護者等67.3%(昨年62%)、教職員100%(昨年90%)が肯定的な評価をしている。保護者等の「分からない」は21.5%である。生徒・保護者等・教職員の肯定的な評価が上がっている。今後も、最新の進路情報を収集し、さらにきめ細かい情報の伝達を行うとともに、指導方法についても工夫・改善をしていく。



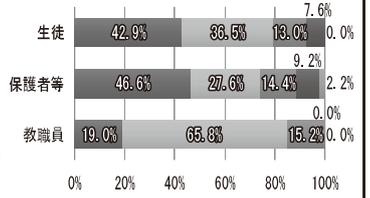
(13) 本校の進学補習(土曜補習)を、毎回受講していますか。

生徒91.4%(昨年92%)、保護者等91.7%(昨年94%)、教職員73.5%(昨年69%)が肯定的な評価をしている。生徒の学習への意欲は高く、保護者等の関心も高いと思われる。今後も、生徒の進路実現に向けて、授業・補習の充実と課題に対する取組の充実を図っていく。



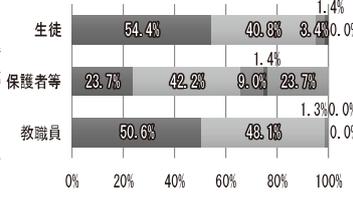
(14) 本校から配付している連絡文書、案内文書、学校通信「若鳩」はご家庭に届いていますか。

生徒79.4%(昨年80%)、保護者等74.2%(昨年81%)、教職員84.8%(昨年74%)が肯定的な評価をしている。生徒や保護者等の回答から、家庭に連絡文書等が十分に届いていない現状が確認できる。保護者等あての文書は、本校ホームページに掲載したり、「すぐる」でも配信したりしている。また、学校での活動についても、引き続きホームページに掲載し、発信していく。文書は、学校と家庭の情報共有を図るうえで大切な手段であるため、生徒にも重要なものという意識付けを徹底していく。



(15) 本校は、進路指導に必要な進路教材・資料の提供は十分であると思いますか。

生徒95.2%(昨年91%)、保護者等65.9%(昨年63%)、教職員98.7%(昨年91%)が肯定的な評価をしている。保護者等の「分からない」は23.7%である。生徒からは一定の評価を得ているが、保護者等の肯定的な評価が少し低く、「分からない」も多い。大学入学共通テストや各大学の入試について、不安を感じる保護者等が増えていると思われるため、生徒・保護者等にとって進路決定の参考となるよう、さらなる情報提供の工夫をしていく。



(16) 本校は、生徒の悩みについて、相談できる体制づくりができていると思いますか。

生徒85.5%(昨年82%)、保護者等53.5%(昨年54%)、教職員91.2%(昨年83%)が肯定的な評価をしている。保護者等の「分からない」は32.7%である。今後も、生徒・保護者等に向けて、本校における相談・支援体制を周知していくとともに、今まで以上にスクールカウンセラーとの相談しやすい体制づくりと、校内や外部の関係機関との連携を密に図っていく。

